

平成 25 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸
(JASDAQ コード 6888)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 中川智章
(TEL 03-5217-3121)

特別利益及び営業外費用の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

特別利益及び営業外費用を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月3日付「平成24年6月期 決算短信」で発表いたしました平成25年6月期(平成24年7月～平成25年6月)の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

(1)特別利益の額(連結)

負ののれん発生益 37百万円

(2)内容

平成25年6月26日付の「持分法適用会社の異動(連結子会社化)、当該会社の代表者異動及び役員の退任、並びに定款の一部変更に関するお知らせ」で公表したとおり、当社は平成25年6月26日付で、株式会社エクスカルの株式260株をNational Technical Systems社から譲り受け、株式会社エクスカルを100%子会社といたしました。

平成25年6月30日をみなし取得日として会計処理を行った結果、企業結合時の時価純資産額が当社の同社株式の取得原価を上回ったため、当該差額37百万円を、平成25年6月期連結会計年度において、一括して負ののれん発生益として、特別利益に計上いたします。

2. 営業外費用の計上について

(1)営業外費用の額(連結)

事業準備費用 10百万円

(2)内容

平成25年4月23日付の「連結子会社にかかる会社分割(吸収分割)に関する吸収分割契約締結のお知らせ」で公表したとおり、平成25年6月1日付で、当社の連結子会社であるASロカス株式会社が、株式会社昭文社の連結子会社である株式会社昭文社デジタルソリューションの事業の一部を会社分割(吸収分割)により承継いたしました。平成25年6月1日の事業開始にむけた準備のため、平成25年2月1日から平成25年5月31日までにASロカス株式会社で発生した10百万円を、事業準備費用として、営業外費用に計上いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

3. 業績予想の修正について

(1)平成25年6月期 通期連結業績予想数値の修正(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 3,100	百万円 30	百万円 50	百万円 35	円 銭 360.84
今回修正(B)	2,657	△18	△24	△12	△125.41
増減額(B-A)	△443	△48	△74	△47	
増 減 率(%)	△14.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年6月期)	3,033	10	31	16	165.50

(2)平成25年6月期 通期単体業績予想数値の修正(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 2,500	百万円 50	百万円 80	百万円 75	円 銭 773.24
今回修正(B)	2,092	10	31	32	333.27
増減額(B-A)	△407	△39	△49	△43	
増 減 率(%)	△16.3	△78.8	△61.2	△56.9	
(ご参考)前期実績 (平成24年6月期)	2,394	26	151	150	1,546.54

(3)修正の理由

(連結)

ITソリューション事業において、制御系システム開発分野、官公庁分野の売上が計画を下回る見込みです。また、平成25年6月1日付での吸収分割により事業を本格的に開始したASロカス株式会社の売上高は、1か月分のみが連結対象となりました。その結果、当連結会計年度の売上高は2,657百万円と、当初予想を443百万円下回る見込みとなりました。売上高が予想を下回る見込みであることから、営業損失は18百万円の見通しとなります。営業外費用として、「2. 営業外費用の計上について」にてご報告いたしましたとおり、ASロカス株式会社の事業準備費用10百万円、持分法による投資損失7百万円の計上により、経常損失は24百万円となる見込みであります。

「1. 特別利益の計上について」にてご報告いたしましたとおり、株式会社エクスカルの負ののれん発生益37百万円を特別利益に計上いたします。以上の結果、当期純損失は12百万円となる見込みとなりました。

(個別)

連結のITソリューション事業と同様の理由で売上高が当初予想を407百万円下回る2,092百万円となる見込みとなったことにより、営業利益は10百万円、子会社からの受取配当金8百万円、助成金収入10百万円の計上により、経常利益は31百万円、当期純利益は32百万円となる見込みとなりました。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。